

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース

パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校

天津大学

2014年度国際建築・都市設計ワークショップ

「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2013年4月14日(月)から18日(金)までの5日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホールを主会場として、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校(ENSA-PVS)と合同で、「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」について調査・提案する建築・都市設計ワークショップを開催しました。今回はENSA-PVSの大学院生13名(うち1名はNUPACE留学生として名古屋大学に在籍中)と天津大学の大学院生1名及び名古屋大学建築学コースの大学院生・研究生21名の計35名が参加しました。ワークショップの指導は、Boris Weliachew教授、Marc Dilet教授(以上ENSA-PVS)、鄭穎副教授(天津大学)、小松尚准教授、高取千佳助教(以上名古屋大学)、村山顕人准教授(東京大学)と5名のティーチングアシスタントが行いました。

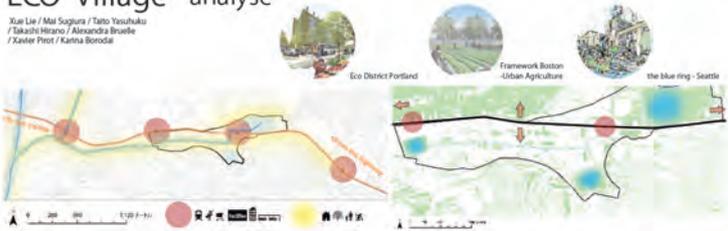
本ワークショップは、異なるバックグラウンドを持つ学生同士が英語で対話し協働し、提案する貴重な機会を提供するものですが、この取り組みは、2009年4月以降、両大学の間で締結された学術交流協定に基づき実施されています。毎年4月に名大で、9月にパリでWSを行っており、名大でのWSは今回が5回目(パリでのWSを含めると9回目)になります。

参加者は、5つの国際グループに分かれ、3年前に延伸した名古屋市営地下鉄桜通線の鳴子北駅と相生山駅を含む地区を対象に、地区スケールの都市デザインと駅そば生活圏にふさわしい住宅、そして自然災害に対する減災対策について調査・提案しました。1日目は名古屋の都市計画・まちづくりと日本の住宅の空間構成に関する講義を受け、現地見学に基づき課題や魅力を共有し、2日目以降はグループ作業を行い、3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。この間、2日目には減災館、4日目には豊田講堂の見学を行いました。成果発表会では、各グループの調査・提案が図面(A1版4枚)と模型によって発表されました。時間の制限はあったものの、どの提案も今後の建築・都市デザインの参考になる刺激的な内容でした。名古屋大学の教員と学生だけではなく、名古屋の行政関係者や建築・都市デザイン関係者も来場し、意見交換が行われました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

ECO-Village analyse

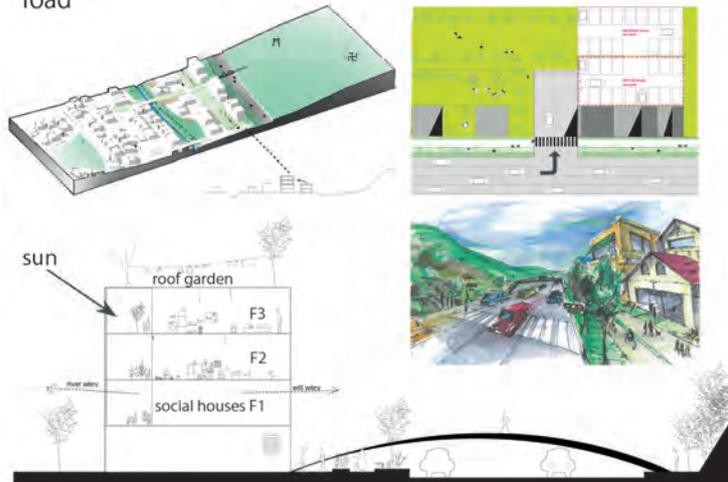
Xue Liu / Mai Sugiura / Taito Yasuhuku / Takahashi Hirano / Alexandra Bruelle / Xavier Pirot / Katma Bonoda



urban regeneration & disasters mitigation



road



concept + master plan CONSERVATION IMPROVEMENT REDEVELOPMENT



views



●概要

桜通線の駅である鳴子北一相生山は、名古屋の中心市街地へと働く人のためのベッドタウンで、名古屋市の提唱する駅そば生活圏の800m圏内に住宅地が密集しているが、緑や池、駅と駅を結ぶように川が流れるなど自然に囲まれた地域でもある。
 本計画では、駅近を外部の人がメインとなって利用するスペースとし、駅ビルを建てオフィスやジムといった用途を入れた。また駅と駅の間を地域の人が中心となって利用できるよう、街区内の駐車場や空き地を利用し地域の人たちがコミュニケーションの場としてカフェやWSスペースといったものを川沿いに設計を行った。内外の人の生活スピードの違いに着目し川沿いでのコミュニティを誘発する。

●メンバー

ENSA-PVS
 Alexandra BRUELLE
 Xavier PIROT

NU-GSES
 Xue Liu
 Mai Sugiura
 Taito Yasuhuku
 Takahashi Hirano

Joint Architectural and urban Design Workshop 2014
GREEN LINE
Site Analysis - Nagoya

1

LOCATION

OBSERVATIONS

CONCEPTS

NAGOYA

AREA: 478,000 sqm
AREA: 230,000 sqm
POPULATION: 2,200,000
DENSITY: 4.8 persons/sqm
AREA: 230,000 sqm
AREA: 230,000 sqm
AREA: 230,000 sqm

SITE

AREA: 100,000 sqm
AREA: 100,000 sqm

PROBLEMS

1. The site is located in a dense urban area with high building density and narrow streets.

2. The site is surrounded by a mix of residential and commercial buildings, which may affect the overall atmosphere and quality of life.

3. The site is located near a major road, which may cause noise and air pollution.

4. The site is located near a river, which may provide a natural environment and scenic view.

5. The site is located near a station, which may provide convenient transportation and access to the city center.

6. The site is located near a park, which may provide a green space and recreational area.

7. The site is located near a school, which may provide educational facilities and a safe environment for children.

8. The site is located near a hospital, which may provide medical facilities and a safe environment for the elderly.

9. The site is located near a shopping area, which may provide convenient shopping and services.

10. The site is located near a public facility, which may provide social and cultural activities.

Joey Lee - Kosuke Yoshida - Yuko Suzuki - Taichi Adachi - Taiso Jo - Julie Martins Da Silva - Manon Glasberg

Joint Architectural and urban Design Workshop 2014
GREEN LINE
Town Planning - Nagoya
MASTER PLAN 1 - 2000

2

Joey Lee - Kosuke Yoshida - Yuko Suzuki - Taichi Adachi - Taiso Jo - Julie Martins Da Silva - Manon Glasberg

Joint Architectural and urban Design Workshop 2014
GREEN LINE
Atmosphere - Nagoya

3

URBAN SECTIONS

PERSPECTIVES

Joey Lee - Kosuke Yoshida - Yuko Suzuki - Taichi Adachi - Taiso Jo - Julie Martins Da Silva - Manon Glasberg

Joint Architectural and urban Design Workshop 2014
GREEN LINE
Architecture - Nagoya
PLANS 1 : 100

4

SECTION 1 : 100

Joey Lee - Kosuke Yoshida - Yuko Suzuki - Taichi Adachi - Taiso Jo - Julie Martins Da Silva - Manon Glasberg

●概要

敷地周辺には、相生山や公園の大きなヴォリュームの緑があり、街区内に小さなヴォリュームの緑が点在している。まず大きな緑のヴォリュームをつなぐように、水路沿いの緑道を整備し、この緑道を歩行者・自転車道として活用する。また、相生山に波が輪の4車線幹線道路の北側2車線を、相生山の一部として捉え歩行者・自転車道となる緑道を整備する。

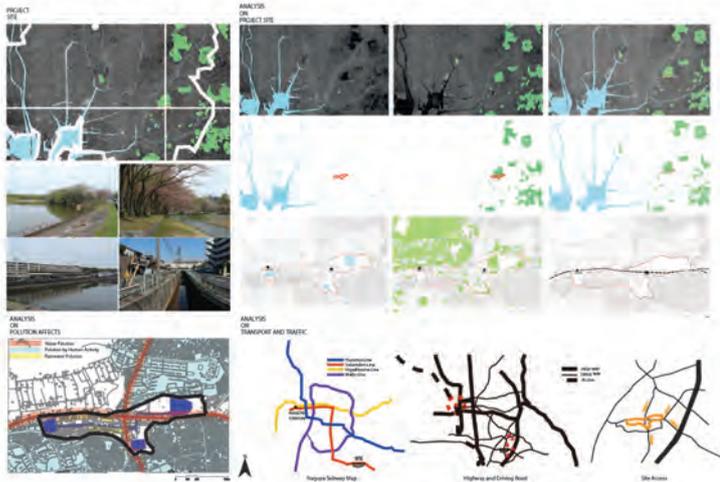
街区内では、東西方向に視線の抜けと緑のつながりをつくるために、3住棟で1セットの集合住宅のタイプを提案する。集合住宅内では、階段の踊り場に各住戸の菜園を設け、垂直方向へと緑を連続させている。この集合住宅が幹線道路沿いに計画されることで、水平垂直両方へと緑が連続する景観が得られる。

また、相生山駅周辺には、集合住宅と同様の構成をスケールアップし、通勤通学者、子ども、高齢者ための複合施設を計画する。現在、相生山駅周辺に広がる公園や運動施設へと各施設の活動を広げることで、複合施設の建物規模を小さく抑え、現存する緑、整備した緑のある外部空間を多く活用する複合施設のあり方を考える。

●メンバー

- ENSA-PVS
Julie MARTINS DA SILVIA
Manon GLASBERG
- NU-GSES
Joey Lee
Kosuke Yoshida
Yuko Suzuki
Taichi Adachi

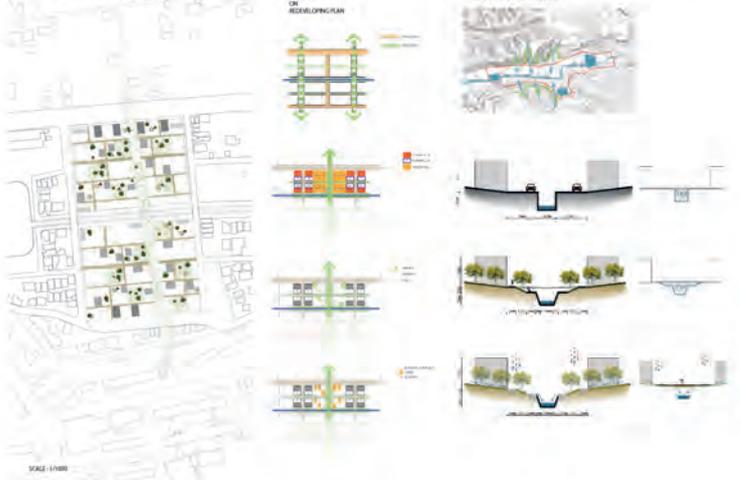
ECO-CONNECTION



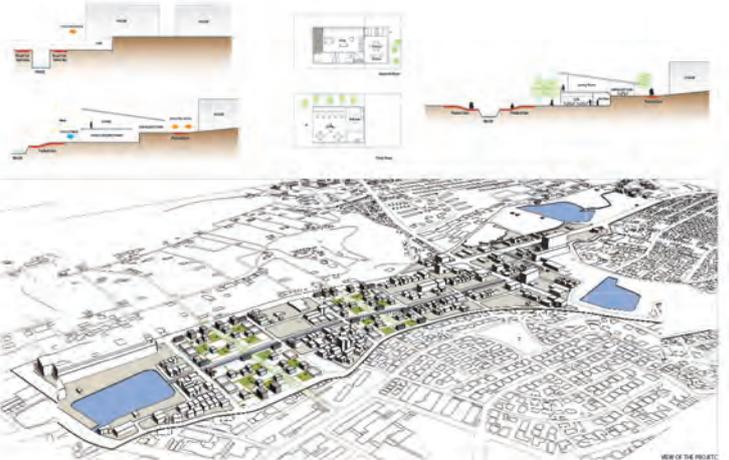
ECO-CONNECTION



ECO-CONNECTION



ECO-CONNECTION

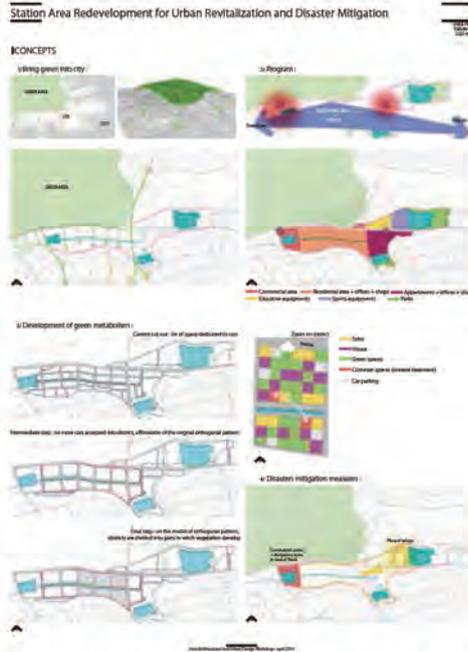
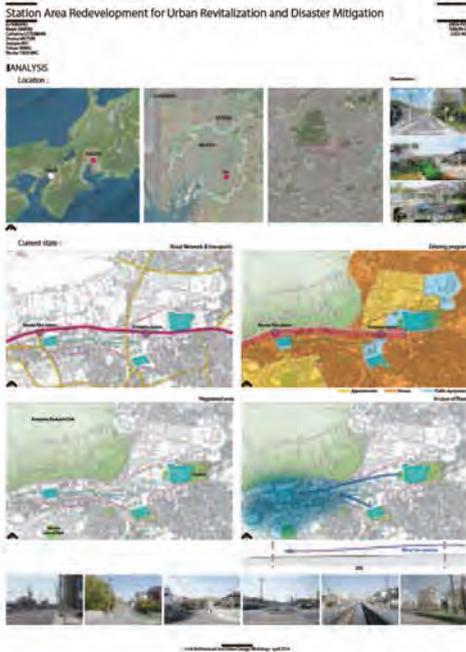


●概要

都市再開発で対象とした地域は名古屋市内少し離れている名古屋市営地下鉄桜山線の鳴子北駅と相生山駅の間となり、地域分析や交通機関分析や環境問題分析などから、二つのプロポーザルコンセプトから考えられる。自然のある山と街の結び点とし、地域の人々が楽しんでヘルシーな生活を過ごせるようにすることをコンセプトの一つとした。また、この地域には三つの池があることを利用し、池と緑、駅と文化施設の関係を同一の共通点により土地利用を考えていく。特に緑を主にし、川沿いに人々が楽しんで歩けるように設計した。それとともに、洪水や空気汚染による災害を防ぐために既存の川の形を変わり、緑を増やした。それに加え、地域の住宅を新しく設計し、アプローチを二方向とした。

●メンバーズ

- ENSA-PVS
Emilie HODERBERT
Claire LACAZE
- TIANJIN-U
Jingrong DENG
- NU-GSES
Naoki SAIKAWA
Mari WATANABE
Shintaro FUJITSUNA
Oudam TENG



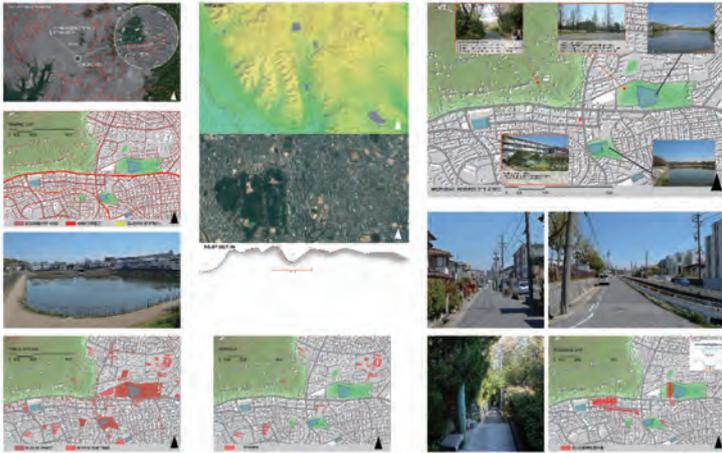
■概要

鳴子北駅と相生山駅周辺には緑豊かな相生山と水路でつながる3つの池があるが、東海通によって緑と住宅地が分断されている。駅周辺と2つの駅間の地区に分けて計画していく。駅前には商業施設等を建設することで、駅周辺の開発も行い、住民の車の使用量を減らしていく。駅間の地区は、水路を含めた街区をつくり、昼間人が少ないこの地域に、SOHOを計画する。街区を格子状に構成し、SOHOや住宅、緑をちりばめ、水路沿いの道路を歩行者空間とし、水路に架かる橋を増やすことで、対岸とのつながりを強くする。だんだんと緑が住宅地に引きのばされていく。

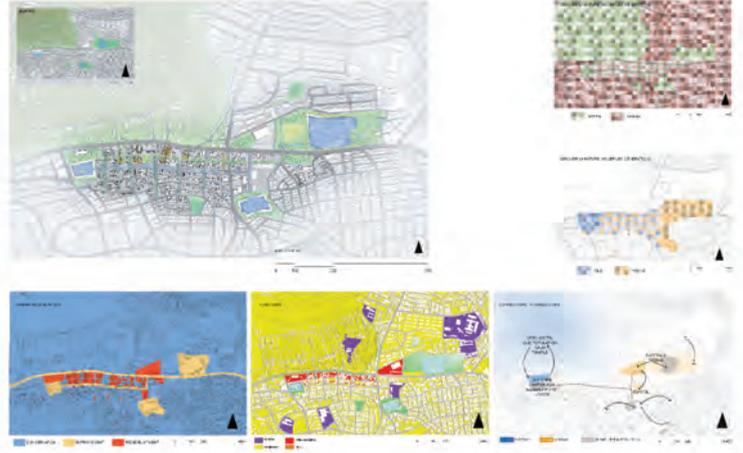
■メンバー

- ENSA-PVS
 - Catherine LISTEMANN
 - Nicolas YAOUANC
 - Malak LEMRINI
 GSES-NU
 - Eri NAKANO
 - Jianqiao WU
 - Shoma HATTORI
 - Yiduan WANG

SITE

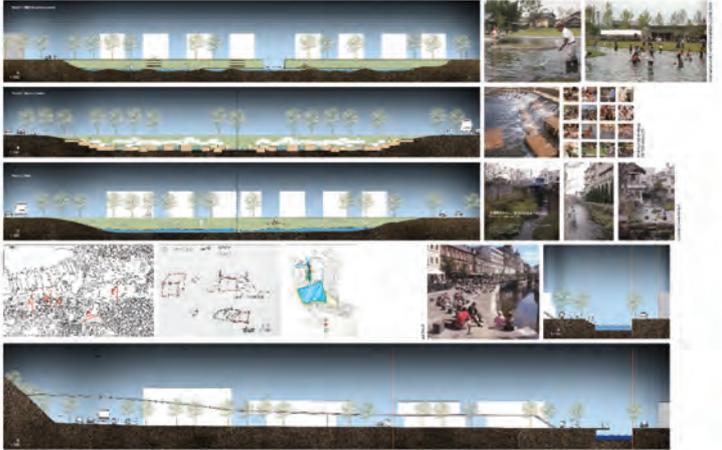


CONCEPT



自然をあるく、世代がとけあう

CONCEPT

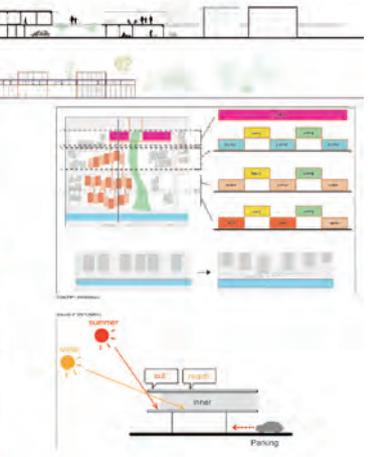


DÉNOUER LA NATURE, NOUER LES GÉNÉRATIONS

DWELLING UNIT



SEAMLESS WOODS, SEAMLESS GENERATIONS



●概要

敷地分析を通して、この地区における南北方向の緑のつながりと、東西方向の世代のつながりを意識した全体計画を考えた。また、それらを実現させるために三つの池とそれらをつなぐ川に着目し、それぞれ設計した。鳴子北駅の池には高齢者のためのデイケア施設を、敷地東側の池には文化施設としてスポーツセンターとバスターミナルを計画した。小学校南側の池の周りは小学校と一体となるようなランドスケープを考えた。

そしてそれらの池をつなぐように川辺空間も同様に設計した。川幅を広げ歩行者専用の道にすることで、川辺をより豊かな空間にすることを考えた。そして川沿いに住居ユニットやカフェ、ギャラリーを設けることで活気を与えることを考えた。

様々な世代の人々が豊かな緑のある水辺空間を歩き、集うことでこの地は新たに生まれ変わるだろう。

●メンバー

ENSA-PVS
Marie WELFRING
Cynthia SAAB
Victor LE FORESTIER DE QUILLIEN

NU-GSES
Natsuhiko Zenigame
Noriaki Takahashi
Kana Matsubara
Rou Wang

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130429/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2014
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 21 名、天津大学 1 名が参加)
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140414/index.html>>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。



NAGOYA
UNIVERSITY

PARIS
VAL DE
SEINE
ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE
D'ARCHITECTURE